

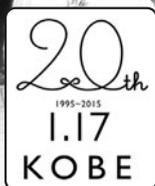


# 居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

## 旧居留地の阪神・淡路大震災 20年

旧居留地連絡協議会員の街への愛着と誇り。  
 これらは震災でより強固なものになり、  
 街の復興スピードは想像以上に早いものになりました。  
 さらに各自の「自主防災力」は一段と高まりを見せました。



来年の1月17日は、阪神・淡路大震災から20年となります。半年後の節目の日を見据えて今、さまざまなかたちで「あの日」と「その後」を問い直す動きが目立ってきました。大震災の未経験世代はすでに神戸市民の4割を超えたといえます。3年前には東日本大震災も起きました。記憶を風化させず、貴重な体験と教訓をどのように伝え、安全・安心のまちづくりにどう生かして将来の災害に備えるか。「あの日」から変わらない普遍のテーマです。改めて、旧居留地と連絡協議会の「震災20年」を振り返ってみました。

ことさら風が冷たい日でした。旧居留地を東西に貫く町町通に面した大丸カーポートの6階。吹きさらしの駐車場の一面にパイプ椅子が並ぶ、にわか仕立ての会場でした。集まった会員の多くはジーパンに防寒服という震災ルック。互いの無事を喜びあいな

がらも、誰いうとなく声があがったそうです。「歴史ある居留地をつぶすな」「皆で手を取り合ってがんばろう」

1995(平成7)年2月6日。資料に残る旧居留地連絡協議会の臨時総会のひとこまで。震度7の大きな揺れからわずか20日後。戸惑いうちひしがれる被災地が目立つなかで、ひときわ早い再生に向けた立ち上がりでした。

震災では、旧居留地106棟のビルのうち22棟が補修ができないほどの大きな被害を受けました。この中には、明治の居留地時代から唯一残されていた「15番館」(国指定重要文化財)をはじめ、戦時中の空襲をも生き延びた大正・昭和初期の近代洋風建築6棟が含まれていました。

話しを戻します。臨時総会の会員合意を受けて、当協議会は「復興委員会」を設立します。震災から9カ月後の10月には「神戸旧居留地／復興計画」を早々とまとめあげます。

計画には①安全で高規格な都心づくり

②交通の流れを整え歩きたくなる街づくり  
 ③風格ある街並みの形成④居留地にふさわしい建設活動の促進—の4方針を掲げました。「魅力ある旧居留地の復興を一日も早く進め、神戸の再生を先導したい」。野澤太一郎会長が熱い思いを語っています。

明確な方向付けができたことで、その後、旧居留地の再生に向けた街づくりの動きが一気に加速します。

震災の年の4月に神戸市によって決定された地区計画を実現させる具体的なプランを盛り込んだ「都心(まち)づくりガイドライン」策定(1997年3月)▽域内事業所の災害への対応能力を高める「防災マニュアル作成の手引き」発行(1998年1月)▽災害時の事業所の相互支援策や来街者対策を定めた「地域防災計画」制定(2001年1月)▽「広告物ガイドライン」作成(2003年10月)など、矢継ぎ早な対応が続きました。

大震災からほぼ20年を経て、これらの成果は、旧居留地のなかに目に見えるかたちで確認できます。

一見して分かるのが、これまでの町並みにはなかった開放的なスペースが数多く生まれました。

被害が大きく撤去されたビルの大半は、震災後10年以内にはほぼ再建されています。他の建替・新築ビルを含め、壁面は敷地内に約1メートル後退するかたちで統一され、歩道から見上げるビルのシルエット(スカイライン)や壁面線が揃えられました。戦前の街並みの良いところを引き継ごうという試みです。新しいビルの建物内部にポルティコ(街廊)などが設けられ「街角広場」も生まれました。新ビルには以前にも増してブティックやレストランが立地し、街全体にオシャレで落ち着いた新しい賑わいが醸し出されました。

旧居留地に欠かせないのが、重厚で風格ある近代洋風建築です。今なお戦前竣工の9棟が残っています。



震災前の15番館

ちなみに、全壊した「15番館」(木骨煉瓦造2階建)は震災から3年後、倒壊前の主要部材の7割を活用して復元されました。免震構造を取り入れたコロニアルスタイルのレトロなレストランが再生され、多くの市民に親しまれています。大正7年竣工の「海岸ビル」(鉄筋コンクリート造4階建)は、元の石材を活用し外壁を残すかたちで復元保存され、震災での被害は比較的小さかった「商船三井ビル」(大正11年竣工、同7階建)も、耐震補強工事が施されて使い続けられています。

成果は、他にもまだあります。飛躍的に高まったのが、旧居留地の自主防災力でしょう。

震災の翌年10月に「防災委員会」を新設した連絡協議会は、非常時の街の防災力を考えるうえで、行政の救護対応が可能となるまでの「最長72時間」の検討にかなりの時間を割きました。

旧居留地では平日の昼間、約2万5千人が働き、約1万人の来街者がいると推定され



大丸神戸店にある外廊

ています。「命と財産は自分(自社)で守る」を原則に、まず、非常時の事業所相互の支援連携・情報交換を密にする4グループの「隣組連絡網」を設けました。域内2ヶ所に新設した「備蓄倉庫」にはジャッキ、ハンマー、救急医薬品、毛布など緊急時に役立つ機材が数多くストックされています。一方、来街者は非常時に帰宅困難となるおそれがあり、「救護コーナー」4ヶ所と「情報提供コーナー」2ヶ所を設けることにしました。場所や態勢もあらかじめ決めています。事業所のAED設置も増え、けが人などの搬送先・方法などもマニュアル化されました。

これらは非常時に役立ってこそその備えです。定期的な訓練や点検をはじめ、マニュアルの見直し・改定などが続けられ、事業所ごとに市民救命士の育成などにも力が注がれています。

連絡協議会の取り組みは、防災まちづくり大賞「消防庁長官賞」(2001年)、防災功労者「内閣総理大臣表彰」(2003年)、日本都

市計画学会「石川賞」(2007年)など、外部からも高い評価を受けました。復興への助言を続けてきた地域問題研究所の山本俊貞さんは、その要因をこう分析しています。

「震災前からの持続的な活動で、会員たちの街への愛着と誇りがことのほか強かった。そのことがガイドラインづくりなどで視点を共有化させ、意思の統一や自己チェックに役立った。協議会の自律性が高まり、震災後の街づくりを進めるうえで行政との連携・協働にも有効に機能した」

幕末の1868年に誕生した旧居留地。実は、こんな史実が残っています。

住民自治の居留地には、ポンプ車を持つ消防隊が編成され、火見櫓や数多くの防火井戸がありました。消防隊長をつとめたのがイギリス人のA・C・シムです。そのシムは濃尾大地震(明治24年10月)や三陸大津波(同29年6月)の際に、隊員とともに現地に駆け付け、居留民からの義捐金や物資を被災者に届け、救援活動を指揮しました。

大震災で話題となった、今でいう「被災地ボランティア」です。旧居留地には、誕生の当初から「防災」や「ボランティア」のDNAが脈々と流れていたようです。



震災前のオリエンタルホテル



### 旧居留地連絡協議会 平成25年度活動報告と平成26年度活動計画

2014年4月24日(木)、神戸オリエンタルホテルにおいて、平成25年度の定時総会が開催され、昨年度の活動報告及び今年度の事業計画・予算案等が承認されました。



### 防災・防犯委員会

#### 平成25年度活動報告

- ◆**防災・防犯委員会**  
4月22日、5月20日、6月17日、7月23日、9月18日、10月17日、11月22日、12月16日、平成26年 2月17日、平成26年 3月17日  
旧居留地倶楽部にて開催
- ◆**平成25年度防災福祉コミュニティ代表者会議**／4月21日 中央消防署
- ◆**市民救命士講習会**／7月22日  
東京海上日動火災保険 会社8階 大会議室 参加者31名
- ◆**第6回旧居留地防犯講習会**／7月23日 神戸朝日ビルディング アssenブルーム 参加者27名
- ◆**市民救命士講習会**／10月29日  
東京海上日動火災保険会社8階 大会議室 参加者21名
- ◆**旧居留地防災訓練**  
11月22日 神戸朝日ビルディング1F ロビー・中央消防署・神戸朝日ビルディング 13Fアssenブルーム 参加者29名
- ◆**ひょうご安全の日のつどい1.17 メモリアルウォーク**／平成26年1月17日 東遊園地から HAT神戸(大震災の経験と教訓の継承 帰宅困難者の訓練) 参加者24名
- ◆**各種マニュアルの見直し**

#### 平成26年度活動計画

- ・防災防犯委員会 定例会議(原則毎月)
- ・市民救命士講習会
- ・旧居留地防災訓練(全体)
- ・防犯講習会
- ・メモリアルウォーク
- ・防災委員会技術研修会のための訓練
- ・防災技術研修会
- ・防災マネジメント研修
- ・防災福祉コミュニティ代表者会議

### まち 都心づくり委員会

#### 平成25年度活動報告

- ◆**地区内建設計画、店舗計画の聴取、助言**  
・NTT西日本 ・商船三井ビル  
・旧居留地38番館 ・建隆ビル  
・常盤ビル ・神戸市役所  
・昭和シェル石油 旧4号館跡地  
・興和神戸ビル ・日本ビル  
・東京海上日動火災 ……………等
- ◆**ユニバーサルデザインについて**  
・他地区の取り組み事例の研究→北野地区  
・現地見学会→神戸空港
- ◆**道路環境のあり方の検討**  
・伊藤町筋 歩道段差改修工事、京町筋 掘削工事 等
- ◆**夜間景観形成実施計画**  
・既存施設への夜間ライトアップ依頼 等
- ◆**委員会開催実績**  
5月21日、6月18日、7月16日、9月17日、10月22日、11月19日、12月17日、1月21日、2月18日、3月20日 計10回



#### 平成26年度活動計画

- ・旧居留地地区内の建設計画等に対する聴取、助言
- ・他団体・他都市の取組事例の研究、意見交換
- ・道路環境のあり方の検討(放置自転車対策、新規改修道路への提案等)
- ・ユニバーサルデザインの検討
- ・神戸市夜間景観形成実施計画への取り組み
- ・その他

### 環境委員会

#### 平成25年度活動報告

- ◆**緑化活動**  
●**プランターの飾花**／大55基、小5基
- ◆**クリーン作戦**  
●**初夏クリーン作戦**／5月16日  
約200名の参加  
●**初秋クリーン作戦**／9月12日  
約180名の参加  
●**冬季クリーン作戦**／11月14日  
約180名の参加  
●**春季クリーン作戦**／26年3月18日  
約120名の参加(13日雨天の為)
- ◆**ノーマイカーデ運動**  
夏運動 6月14日  
冬運動 12月10日
- ◆**放置自転車・バイク実態調査 実施**  
ルミナリエに合わせ1回実施  
11月21日実施 自転車529台(前年466台)、バイク129台(前年110台) 計658台 前年比較+82台
- ◆**環境委員会定例会議**  
4月11日、7月25日、10月10日  
26年1月23日、2月13日 実施
- ◆**ルミナリエ100円募金**  
12月10、11、12日 計延べ34名
- ◆**エコキャップ運動**



#### 平成26年度活動計画

- ◆**緑化活動**  
・プランターに関しては現状維持
- ◆**クリーン作戦**  
・年4回実施  
●**初夏クリーン作戦**／5月15日  
●**初秋クリーン作戦**／9月11日  
●**冬季クリーン作戦**／11月13日  
●**春季クリーン作戦**／27年3月12日
- ◆**ノーマイカーデ運動**  
・年2回実施 6月12日、12月11日
- ◆**放置自転車・バイク実態調査**  
・年1回実施 ルミナリエに合わせ、市と打ち合わせのうえ、実施

- ◆環境委員会 定例会議  
4月10日、7月24日、10月9日、  
27年2月12日 及び1月に1回
- ◆ルミナリエ100円募金  
前年度並みの動員を図る
- ◆エコキャップ運動  
旧居留地連絡協議会の活動として  
定着させる



忘年会

- ◆忘年会  
12月16日 オリエンタルホテル  
71名参加
- ◆第12回親睦ボーリング大会  
3月18日 神戸ボウリング倶楽部  
35名参加
- ◆活動計画・意見交換会／毎月開催



新年賀詞交歓会

## 広報委員会

### 平成25年度活動報告

- ◆広報誌「居留地会議」No.34  
平成25年11月1日(記念増大号)  
2,000部発行
- ◆親睦会・イベント等の写真撮影・記録  
定例総会(4月25日)、夜景観賞親睦会(8  
月9日)、創立30周年記念式典・コンサート  
(9月16日)、創立30周年記念パーティ(9  
月20日)、忘年会(12月16日)、新年賀詞  
交換会(1月17日)、ボーリング大会(3月  
18日)
- ◆旧居留地連絡協議会 Webサイト運用管理  
・活動カレンダー更新  
・フォトアルバム掲載(各活動の撮影)  
・各種問い合わせ対応
- ◆旧居留地連絡協議会オフィシャル  
サイトの運営管理

## 親睦・イベント委員会

### 平成25年度活動報告

- ◆第11回親睦ゴルフコンペ／5月29日  
有馬カンツリークラブ 20名参加
- ◆夜景鑑賞会  
8月9日 ANAクラウンプラザ～  
六甲山 47名参加
- ◆30周年記念式典・コンサート  
9月16日 神戸朝日ホール
- ◆30周年記念パーティー  
9月20日 チャータードスクエア  
97名参加



30周年記念コンサート

### 平成26年度活動計画

- ・第12回親睦ゴルフコンペ
- ・納涼会
- ・秋の収穫祭
- ・新年会(賀詞交歓会)
- ・第13回親睦ボーリング大会
- ・プロムナードコンサート
- ・活動計画・意見交換会

### 平成26年度活動計画

- ◆広報誌「居留地会議」No.35発行  
平成26年7月1日 2,000部発行予定
- ◆旧居留地連絡協議会Webサイトの  
活用促進、旧居留地WEB写真展
- ◆旧居留地連絡協議会オフィシャル  
サイトの運営管理
- ◆イベント等の写真撮影・記録

## 2014年の 旧居留地 及び 周辺の イベント情報

- ◆7月20日(日)  
サンパフェスタKOBE  
メリケンパーク
- ◆7月20日(日)～21日(月)  
Kobe Love Port・  
みなとまつり  
メリケンパーク
- ◆8月2日(土)  
みなとこうべ海上花火大会  
メリケンパークほか(観覧場所)
- ◆8月16日(土)  
こうべ海の盆踊り  
メリケンパーク
- ◆9月7日(日)  
港町ポリフォニー 2014  
KIITO(デザイン・クリエイティブセンター神戸)
- ◆9月27日(土)～28日(日)  
KOBE ALIVE 2014 ～神戸新舞～  
神戸市中央区各所
- ◆10月4日(土)～12日(日)  
第17回神戸元町ミュージック  
ウィーク  
神戸元町商店街周辺地域
- ◆10月11日(土)～13日(月祝)  
インディア・メーラー 2014  
メリケンパーク
- ◆11月23日(日)  
神戸マラソン  
神戸市役所前(スタート)

### 旧居留地連絡協議会 平成26年度組織図

総 会	常任委員会	親睦・イベント委員会	防災・防犯委員会	都心づくり委員会	広報委員会	環境委員会	顧 問
会 長 野澤 太郎 ノザワ	委員長 富岡 良典 明海興産	委員長 浅妻 一彦 関西電力	委員長 田中 貴夫 朝日ビルディング	委員長 西金 秀記 大神倉庫	委員長 濱野 義郎 神戸市立博物館	委員長 吉田 昇 東京海上日動火災保険	太田 敏郎 ノーリツ
副会長 松岡 辰弥 松岡不動産	副委員長 西金 秀記 大神倉庫	副委員長 柊 和秀 大丸松坂屋百貨店	副委員長 山田 俊一 竹中工務店	副委員長 成田 建和 建隆マネジメント	副委員長 李 啓洋 高砂商行	副委員長 倉田 聡之 KDDI	服部 博明 三井住友銀行
副会長 柚木 和代 大丸松坂屋百貨店	副委員長 南 嘉邦 南				副委員長 網本 雅生 ジャム・デザイン	副委員長 中井 秀典 神港ビルディング	山本 俊貞 地域問題研究所

## 新 会 員 募 集

●入会のお問い合わせ、お申し込みは、  
078-333-2444 大丸神戸店(事務局/土池・柊)まで

## 旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町 30 大丸カーポート 7 階  
Tel.078-332-0151 Fax.078-332-0052